

レンリソウ

Lathyrus quinquenervius
(Miq.) Litv. et Klob-Alisova

マメ科
Leguminosae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は極めて少なく、個体数は僅少である。土地の改変や野焼きの停止による植生遷移の進行、人による採取などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群

分布域 本州 九州(佐賀・熊本・大分)
朝鮮半島 中国・中国(東北部) ,ウスリー ,アムール ,ダフリア

生育環境 丘陵地や低山地の草原，湿地。

現 状 植生遷移の進行や人による採取で，消滅した生育地がある。

イヌハギ

Lespedeza tomentosa
(Thunb.) Sieb. ex Maxim.

マメ科
Leguminosae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II

選定理由 県内では，生育地が人里近くや市街地にあって散在し，個体数は少ない。土地改変や植生遷移の進行により，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 中津・宇佐低地，玖珠丘陵地・山地，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，豊後水道域

分布域 本州 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
中国・中国(東北部) ,台湾 ,インド ,東シベリア

生育環境 低地や丘陵地の空き地，草地。

現 状 市街地やその周辺地の生育地で，土地が改変されて消滅した所がある。

クスモダマ(カマエカズラ)

Mucuna macrocarpa Wall.

マメ科
Leguminosae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 亜熱帯から東南アジアまで分布する大形の木質つる植物。鹿児島島の馬毛島に分布し，九州本土の当該地に隔離分布している。植林地の生育地では切られるほか，斜面の崩壊などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布 豊後水道域

分布域 九州(大分・鹿児島) 沖縄
台湾 ,中国南 ,東南アジア ,インド ,東ヒマラヤ

生育環境 海岸の崖地。

現 状 崩壊などの影響はあるものの，生育地は近年少し広がっている。

備 考 暖地植物。県指定天然記念物「蒲江カズラ」(蒲江町)，カマエカズラはクスモダマの別名。以前はカマエカズラと呼ばれていた。地元ではウマカズラと呼び，牛馬の飼料にしていた。